法学部国際関係法学科　カリキュラムツリー

ＤＰ	ＣＰ	１年		２年		３年		４年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 過去を踏まえて国際社会の実情を把握し、それと関連する国際関係法学の基礎的な概念および理論を適切に認識することができる。	国際関係法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識する導入科目を1年次に配当し、それを前提として法学の中核となる専門的知識を理解するための国際関係法学・政治学・法律学の基本科目を1～3年次に配置する。	基礎演習 法律学習の基礎 マクロ経済学Ⅰ	法学概論 国際法 憲法Ⅰ(総論・統治機構) 民法（総則） Problem Solving Skills for Global Issues Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ	政治学原論Ⅰ 憲法Ⅱ（基本的人権） 刑法Ⅰ（総論） 民法（契約法） 民法（親族・相続） 会社法Ⅰ（企業組織法） 世界経済論 日本史A 外国史A ヨーロッパ史A 人文地理学A 自然地理学A 地誌学A 現代哲学思想A 宗教学A	刑法Ⅱ（各論） 民法（物権） 民法（債権総論） 民法（不法行為等） 会社法Ⅱ(企業金融法) 国際経済学 日本史B 外国史B ヨーロッパ史B 人文地理学B 自然地理学B 地誌学B 現代哲学思想B 宗教学B	西洋経済史 日本経済論	日本経済史		
A-3 国際社会の実情に向き合うために、国際関係法学の基礎的な概念および理論を精確に理解することができる。			Problem Solving Skills for Global Issues Ⅱ	民事手続法Ⅰ（判決手続） 日本文化史A 中国･アジア文化史A ヨーロッパ･地中海文化史A アメリカ･太平洋文化史A 表象文化史A 芸術文化史A	政治学原論Ⅱ 刑事手続法(刑事訴訟法) 保険史 日本文化史B 中国･アジア文化史B ヨーロッパ･地中海文化史B アメリカ･太平洋文化史B 表象文化史B 芸術文化史B				
B-2 国際関係法学の基礎的な概念および理論を国際社会の実情に応用し、その結果を明確に提示することができる。	国際関係法学の高度な知識を修得し、それを用いた法的思考・法的解釈を提示するための国際関係法学・政治学の発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を2～3年次にかけて配置し、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較するための法律科目を2年次に配置する。		国際ビジネスの法と交渉	国際私法Ⅰ（総論・家族法） 国際人権法 政治理論 政治史Ⅰ 地域研究Ⅰ 雇用関係法Ⅰ 企業取引法Ⅰ（商法総則）	国際取引法 政治史Ⅱ 日本政治論 海洋法 行政法総論 雇用関係法Ⅱ 企業取引法Ⅱ（商取引法） 民事手続法Ⅱ（民事執行・保全法）	国際民事手続法 政治思想史 行政学 労使関係法 租税法 社会保障法 刑事政策 特別刑法 金融法Ⅰ(企業決済法)	国際私法Ⅱ（財産法） 地方自治論 企業取引法Ⅲ（保険法・海商法） 金融法Ⅱ（金融商品取引法） 法哲学Ⅱ 法社会学Ⅰ		
B-3 国際関係法学の発展的な概念および理論を幅広く学び、国際社会の実情を複数の視点から分析することができる。				International Law 国際政治学 マクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅱ		国際組織法 行政救済法 法哲学Ⅰ 法制史Ⅰ 財政学 国際金融論	国際商事仲裁 地方自治と法 租税手続法 法制史Ⅱ 法社会学Ⅱ		
C-2 変容する国際社会の諸現象に関する課題を発見し、国際関係法学のみにとらわれない広い視野と批判的見地から評価することができる。	国際関係法学の概念・理論を前提として、2～4年に先端的な法的問題を理解・解決する力を身につける国際関係法学・政治学の発展科目および専門演習（演習・実務関連科目）を配置し、この問題の理解・解決を諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行うための法律科目を2～3年次に配置する。			国際環境法 国際協力論 地域研究Ⅱ 知的財産法（概論）	Advanced International Law 国際関係史 地域研究Ⅲ	国際経済法 国際紛争解決法 国際知的財産法 EU法 現代政治思想	宇宙法 少年法 民事手続法Ⅲ（倒産処理法） 知的財産法（応用）		
C-3 変容する国際社会の諸現象の課題を解決するため、あるべき国際社会を展望して新たな秩序を形成することへ、国際関係法学のみにとらわれない広い視野から能動的に参与することができる。				社会科学総合講座 外国法政Ⅰ 外国法政Ⅱ 経済法	比較政治学 外国法政Ⅲ 外国法政Ⅳ 国際開発論 専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ		専門演習Ⅲ
D-2 人権・遵法意識と倫理観を備え、公平・公正な観点から国際社会における多様性を受容し、国際社会の諸現象に敏感に反応することができる。	法的問題解決力を身に付けるための発展法律科目を2年次及び3年次を中心に配置し、法的な議論を行うことができる力を身に付けるための演習・実務関連科目を1年次より配置する。	英書講読Ⅰ	英書講読Ⅱ	表現技法の基礎 行政実務から見た法学 インターナショナル・サービス・ラーニング ※応用法律学（憲法） ※応用法律学（刑法） ※応用法律学（商法）	ビジネス実務から見た法学 ※応用法律学（民法）	※応用法律学(行政法)	※応用法律学(刑事訴訟法) ※応用法律学(民事訴訟法)		
D-3 国際社会を基礎づける多種多様な価値観に基づき、独立した個人として自ら進んで学ぶ高い意欲を身に着け、積極的に市民社会を担うことができる。				専門外国語ⅠA 専門外国語ⅡA 専門外国語ⅢA	専門外国語ⅠB 専門外国語ⅡB 専門外国語ⅢB			特別専門演習	